

奥大和地域におけるアウトドア・スポーツ ツーリズムの推進について

令和7年1月22日(水)
知事定例記者会見資料

【担当】

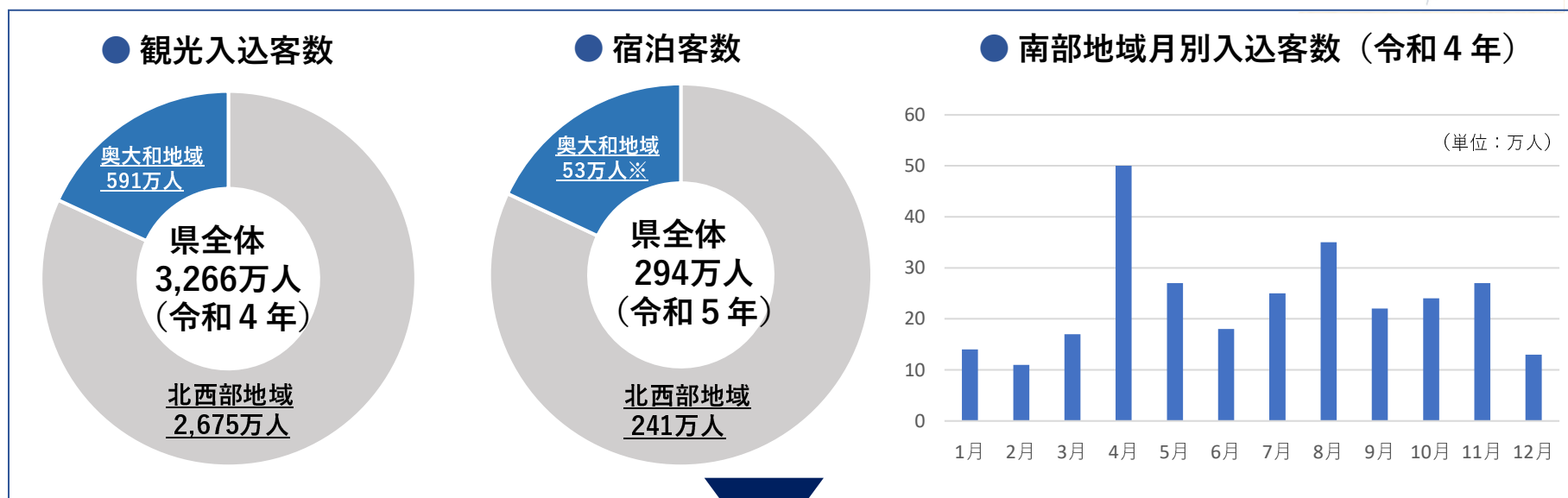
知事公室奥大和地域活力推進課（奈良県橿原総合庁舎内）

	津田、足立	ダイヤル 0744-48-3016
観光局観光力創造課	辻、土井	ダイヤル 0742-27-8553
		内線 2607、2680

■奥大和（南部・東部）地域での観光誘客の現状と課題

県への観光客及び宿泊客は奈良公園エリアを中心とする北西部地域に約8割が集中。

特に、吉野を含む南部地域の観光客はオン・オフシーズンの差が顕著であり、通年を通して奥大和地域に誘客できるコンテンツの整備が必要。



奈良県「観光客動態調査」及び「宿泊統計調査」より
※奥大和地域の宿泊客数は「宿泊統計調査」のC、D、E、Fエリアの数字を集計

奥大和地域が有する豊かな自然や、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」など、他地域にはない地域資源を最大限に活かして、ファミリー層や競技者層、インバウンドなど、国内外から幅広い層の誘客が見込まれる「**アウトドア・スポーツツーリズム**」を推進。

■令和6年度の取り組み

奥大和地域でアウトドアアクティビティやスポーツツーリズムを戦略的・計画的に推進するため、ロードマップの作成やモデル事業をアウトドアブランドのモンベルグループと連携・実施

取り組み内容

① トレッキングやサイクリングルートの発掘・調査

- ・トレッキング(13ルート)やサイクリングルート(12ルート)を発掘・調査し、「ジャパンエコトラック奥大和」として登録
 - 世界遺産の構成資産である参詣道「熊野古道小辺路」や「大峯奥駈道」を活用するなど、独自の特色を活かし、地域の魅力をPR
 - ルートマップは全国のモンベル店舗や県内道の駅などに配架する他、モンベルのWEBサイトやアプリに掲載
 - 奈良市と桜井市を結ぶ古道「山の辺の道」をコースとして活用し、観光客が集中する奈良市内から奥大和地域への流入を図る。



○ジャパンエコトラックとは

人力による移動手段で地域の歴史や文化、人々との交流を楽しむ、モンベルが推奨する新たな旅のスタイル

② 「ジャパンエコトラック奥大和」の普及に向けたプロモーション

- ・上記ルートを活用したデジタルスタンプラリーの実施中 (R6.11.29~R7.1.31)
- ・メディアトリップを実施し、アウトドア関連の媒体での情報発信
- ・機運醸成トークイベントを3月22日(土)に開催予定



③ 人材育成プログラムの実施

- ・カヤック、トレッキング、サイクリングの講習会や検定を実施し、奥大和地域におけるアウトドア・スポーツツーリズム推進を担う人材を育成

④ アウトドア・スポーツツーリズム推進のためのロードマップ(5カ年)の策定 【令和7年3月】

- ・奥大和地域が一体となり、戦略的・計画的にアウトドア・スポーツツーリズムを推進するためのロードマップを策定中



⇒今年度の取り組みを踏まえ、令和7年度以降にモンベルグループとの包括連携協定の締結を検討

■令和7年度以降の取り組み

ロードマップ（5カ年）に基づいた取り組みを令和7年度から本格的に展開

取り組み例

① プロモーションの展開等（R6～）

- ・モンベルクラブ会報誌への掲載によるモンベルネットワーク（会員数約118万人）を活用した奥大和地域の魅力発信
- ・メディアへの掲載
ターゲットに合わせたメディアを招請したメディアトリップを継続的に実施
- ・ジャパンエコトラック ルートマップの改訂



【プロモーションの展開】

② オフシーズン対策（R7～）

- ・夏秋期（6月、9月、10月）のカヤック、キャニオニングや冬期（12月～3月）の霧氷・氷瀑トレッキングなどのアクティビティを促進



【ルート案内の充実】

③ トレッキングやサイクリングなどのルート案内の充実（R7～）

④ 協力店の設置などツーリスト受け入れ体制の強化（R7～）

- ・ツーリストへの特典提供や、バイクラックの設置などにご協力いただける協力店の設置



【協力店の設置】

⑤ 継続的な人材育成プログラムの実施（R6～）

- ・インストラクターやガイド等の将来的な自立を目的とした、複数年にわたる人材育成プログラムの実施

⑥ ルートを活用したイベントの展開（R8～）

- ・地域のガイドや協力店と連携したイベントやモニターツアーなどを展開

⑦ ツアー会社と連携した旅行商品の造成（R8～）

⑧ スポーツ合宿等の誘致（R7～）



【イベントの展開】